

# 令和2年度第1回学校評議員会 会議録

## 1 会議の名称

令和2年度岩手県立釜石高等学校 第1回学校評議員会

## 2 会議の構成

### (1) 学校評議員

佐々木 猛 (釜石中学校長)  
武田 直美 (同窓会副会長)  
万城目 千佳代 (前PTA会長)  
新里 進 (株式会社浜千鳥代表取締役)  
須藤 寛人 (定時制教育振興会評議員)

### (2) 学校職員

鈴木 広樹 (校長)  
三田 正巳 (全日制副校長)  
松田 隆宏 (定時制副校長)  
鈴木 勇悦 (事務長)  
小澤 光悦 (総務主任)  
及川 総司 (教務主任)  
高橋 英明 (進路指導主事)  
湊 博之 (生徒指導主事)  
吉田 英男 (SSH推進室・理数科主任)

## 3 会議の開催

令和2年6月18日(木) 15時00分～16時15分 [釜石高等学校視聴覚室]

評議員5名、学校職員9名

## 4 会議の次第

ゼミ活動見学

- (0) 開会
- (1) 校長挨拶
- (2) 全日制概況説明
- (3) 定時制概況説明
- (4) 意見交換
- (5) その他
- (6) 閉会

## 5 会議の概要

### 意見交換

- ・地域コーディネータは、どのような仕事をしているのか？  
→たとえば、企業と生徒とのマッチングのような、教員の手がなかなか回らないような活動をしてもらっている。SSHの活動において、地域の方々との連携が図れるのは、地域コーディネータの働きによるところが大きい。
- ・中学校で行っている総学をSSHにつなげることができるのではないかと感じた。そもそも釜石高校のSSHについて知らない中学生も多いが、SSHを一つの目標にすることで中学生の学習等に対する意識が高まるのではないかと思う。
- ・SSHの指定について聞きたい。  
→全国では200校あまりが指定を受けており、岩手では本校を含めて3校が指定を受けている。指定期間は1期5年で、第2期の今回は来年度までである。指定が終わると補助金がなくなり、現在のような活動が難しくなる。継続申請については、これから検討に入る。
- ・ゼミ活動を見学したが、生徒が意欲的に取り組んでいる姿がすばらしい。このような学習への意欲や主体性を早くから培うため、小学生や中学生が見学できる機会があるといいのではないか。
- ・地域や企業とのつながりがもっと進むことを期待したい。企業も学生から学ぶことが多くあるので、今後の地域コーディネータの活動に期待したい。
- ・SSHの取り組みは面白いと感じた。指定が終わると予算の問題が出てくるという話があったので、お金の問題については、地域の大人たちが協力できるとよいと考えている。

以上